

先週の礼拝メッセージ(2021年12月26日) ゆりこ牧師

## 「選ぶべきもの」 マタイによる福音書 2:1-12、16

イエス様がお生まれになった時、二通りの人がいました。  
イエス様のお誕生を喜んだ人、そうじゃなかった人です。  
今日の聖書の箇所にも、イエス様誕生のしるしを見て喜んだ博士たちと、  
恐れてしまったヘロデ王が登場します。

東の国の博士たちは、星の観察をしていて、ひときわ輝く星を見つけました。  
彼らはイエス様のお生まれになったベツレヘムからは遠く離れたところに  
住んでいる博士たちです。

博士たちは、すぐにイエス様お誕生の贈り物の準備をして、長い旅に出かけました。  
輝く星に向かって、博士たちは旅を続けました。その旅は決して楽なものではなかったでしょう。  
でも、救い主に会いたい、お誕生をお祝いしたいという一心で、博士たちは旅を続けました。

ユダヤの国に入るとまず、宮殿に行き、ユダヤの王様ヘロデのところに行きました。

「王としてお生まれになった方はどこにおられますか？東の国で輝く星を見たので旅をしてきました。」と尋ねました。

ヘロデはそれを聞いて、「不安を抱いた」(3節)とあります。自分が王様なのに、新しい王が生まれただって聞いて、不安になったのでしょうか。

この後、彼はベツレヘムに住む2歳以下の子供を殺すということまでしてしまっただけです。

救い主イエス様のお誕生を喜んで、はるばる贈り物を持ってきた博士たち。  
もうひとり、救い主イエス様のお誕生不安に思って、怒りまくったヘロデ王。

救い主誕生のニュースは多くの方が聞きました。でも、心からお祝いしたのはわずかな人だけでした。

私たちはどちらの人になるでしょう。

同じものを見ているのに、同じことを経験しているのに、信じない人、喜べない人、ではなく、

天使の言葉を信じたマリアや羊飼いのように、そして今日の東の博士たちのように、イエス様のもとに行き、イエス様のお誕生を喜び、イエス様を信じる人になりたいですね。

「信仰の道をわたしは選び取りました。」(詩篇 119:30)

イエス様を信じる道、信じない道 私たはどちらを選ぶでしょう。

感謝する、文句を言う、私たちはどちらを選ぶでしょう。

ニコニコ笑顔、怒った顔、私たちはどちらを選ぶでしょう。

ごめんねと仲直りをする、絶対許さない、どちらを選ぶでしょう。

イエス様は、神様なのに、私たちを救うために、人となってこの世に生まれてくださいました。言葉を変えるなら、十字架で死ぬ道を選んでくださいました。だから私たちはイエス様を信じるなら、罪が赦されて神の子供となるのです。

新しい一年、私たちも神様に喜ばれる道を選び取りましょう。

